

700年に及ぶ
関鍛冶の技を伝える伝承館。
伝統の刃物文化に触れよう!

今回は刃物のまち関市にある「関鍛冶伝承館」を取材してきました。

館内は厳かな雰囲気に包まれており、まるで戦国時代にタイムスリップしたかのような感覚に。ショーケースの中には当時の貴重な展示が並びます。写真撮影できる展示は限られていますが、今回はたっぷりと魅力を紹介していきます。



匠の魂が込められた、様々なかつ物の数々。



日本刀の製造工程もしっかりと解説されているので、学びながら館内を巡るといいですね。伝統の技法と刃物文化の魅力にどっぷりと浸かってください。



五箇伝の中で最も新しい流派、美濃伝。南北朝時代と戦国時代に発展したこの流派は、江戸幕末まで繁栄を続けました。

貴重な刀から鎧、ナイフまで
様々な刃物の展示に取材班も圧倒される!

「刀 無銘」14～15世紀(南北朝～室町時代)
長さ71.1cm 反り1.5cm 細身で優美な姿であり、
もとは太刀として用いられた説があります。



日本刀の鎧(つば)も数多く展示されています。
様々な模様の中からお気に入りの鎧を探してみるのもいいですね。



2階には近現代の刃物コレクションや、国内外のナイフ作家の作品がずらりと展示されています。

関鍛冶伝承館に来たなら見ておこう! 必見のオススメ展示をご紹介!



こちらは3.88メートルもある世界一大きい刀「青宝丸」。その迫力に度肝を抜かれます! 細部にまで丁寧に作りこまれているのでじっくりと鑑賞してみてください。



映画「スター・ウォーズ」に登場する武器“ライトセーバー”をモチーフとして製作された日本刀。映画ファンはもちろん一度は見ておきたいおすすめの1本です。



こちらのコーナーでは、実際の刀を持つ体験ができます。想像以上に重い感じことでしょう。当時の武士たちの気持ちになって体験してみましょう!

関鍛冶伝承館

〒501-3857 岐阜県関市南春日町9-1

電話 / 0575-23-3825

開館時間 / 9:00～16:30

入場料 / 大人 300円(250円)、※11月25日までは大人500円(450円)
高校生 200円(150円)、小・中学生 100円(50円)

※()は団体割引 20名以上

休館日 / 火曜日・祝日の翌日(いずれも休日を除く)

駐車場 / 10台

アクセス / [名神高速道路] 関I.Cより関方面へ車で10分



MJ編集部オリジナル
「MJドライブナビ動画」配信中!!

